

令和6年度（上級）特許調査研修（審査官の視点に近づこう！） 実施報告

令和7年3月

独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）では、令和6年度（上級）特許調査研修（審査官の視点に近づこう！）をオンライン講義と会場での検索実習のハイブリッドにて2回実施いたしました。
本研修では、効果、効率的な先行技術調査手法や、進歩性の判断の仕方などについて、講義だけではなく、演習・グループディスカッション、特許審査官が使う「高度検索閲覧用機器」（一部機能制限あり）を利用した調査実習を通じて学習いただきました。

1. 研修の概要

(1) 日程	第1回			第2回		
	6月19～20日,24日～25日			12月9～10日,12～13日		
(2) 開催地	東京都(6月19～20日はオンライン)			東京都(12月9～10日はオンライン)		
(3) 参加人数 (分野別内訳)	28 名			17 名		
	機械・装置	化学	電気・電子	機械・装置	化学	電気・電子
	10 名	10 名	8 名	9 名	5 名	3 名
(4) 講師	8 名			8 名		

2. アンケート結果（アンケート回収率：第1回 89%、第2回 82%）

(1) 研修全体として	人数	割合	人数	割合
・非常に有意義であった	12 名	48.0 %	10 名	71 %
・有意義であった	10 名	40.0 %	4 名	29 %
・どちらとも言えない	2 名	8 %	0 名	0 %
・有意義でなかった	1 名	4.0 %	0 名	0 %
・とても有意義でなかった	0 名	0 %	0 名	0 %
・無回答	3 名	—	3 名	—
(2) 主な意見・要望	・これまでの職場で得られた知識を再確認できる場でもあったし、審査官の経験のある講師の方々の現場よりの話が聞けて、今後の業務に非常に役に立った。			
	・なんとなくでしか理解していなかったインデックス検索の仕様等をしっかり知ることができた。			
	・これまで新規性や進歩性判断の意味合いが自分の中で曖昧であったが、今回の研修を受講して理解を深める事ができた。			
	・演習を通じて様々な人の検索方針を知ることができ、自身の業務の参考になった。			
	・審査官経験のある方のお話は新たな視点の気づきになった。			